

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和6年7月30日(2024.7.30)

【国際公開番号】WO2022/018455

【公表番号】特表2023-534505(P2023-534505A)

【公表日】令和5年8月9日(2023.8.9)

【年通号数】公開公報(特許)2023-149

【出願番号】特願2023-503131(P2023-503131)

【国際特許分類】

10

H 04 N 23/66(2023.01)

H 04 N 5/262(2006.01)

【F I】

H 04 N 23/66

H 04 N 5/262

【手続補正書】

【提出日】令和6年7月19日(2024.7.19)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項5】

前記フォーカス制御装置が、前記ユーザ入力装置に応答して、

前記ユーザ入力装置が、前記ビデオカメラと前記スクリーンとの間の範囲外における前記レンズの前記フォーカスの調整を命令したとき、前記ディスプレイ制御装置に、該スクリーン上の表示を変更するように信号を送信する、

請求項4に記載のシステム。

【手続補正2】

30

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項15

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項15】

前記画像の一部にぼかしを適用するステップが、

前記ビデオカメラと前記ディスプレイ画面との相対位置を表す情報を受信することと、

前記深度情報、前記焦点距離、前記被写界深度および前記相対位置に依存して、該焦点距離に対して、該被写界深度の外側にある前記対象物を含む前記画像の部分を推定し、該画像の該部分にぼかしを適用することと、

を含む、請求項14に記載のビデオキャプチャシステム。

【手続補正3】

40

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

図1のシステムにおいて、カメラ1は、スクリーンディスプレイ壁3としてのスクリーンをバックに被写体2のビデオをキャプチャするように配置される。このシステムは、カメラとディスプレイ壁との相対位置に依存して、カメラのフォーカスが制御されるように

50

構成されている。また、このシステムは、カメラのフォーカス設定に依存して、ディスプレイ上の画像をぼかすことができるよう構成されている。画像は、静止画であっても、動画のフレームであってもよい。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

カメラのフォーカスは、カメラのオペレータによって制御されてもよい。このオプションは、以下でより詳細に説明する。あるいは、カメラのオペレータがカメラの方向を制御し、フォーカスセンターが、カメラから離れた場所にあるフォローフォーカス6としてのフォーカス制御装置を使用してカメラのフォーカスを制御してもよい。フォローフォーカスは、ノブ7または他の入力装置を含み、それによって、フォーカスセンターがカメラのフォーカスを制御するための入力を提供することができる。10

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

フォーカス制御の簡単な例では、キャプチャされた動画が被写体にフォーカスを合わせることが望まれる場合がある。被写体が動いたり、カメラが動いたりしたときに生じ得ることであるが、被写体がカメラに対して動くと、フォーカスセンターは、フォローフォーカス6を調整する。フォローフォーカスは、カメラのモータ5に制御信号を送信し、カメラが被写体にフォーカスを維持するようにカメラのレンズ4を調整させる。これらの信号は、リンク装置10によって、カメラに変更されずに転送される。第2の例では、カメラによってキャプチャされた動画のフォーカスが、被写体からディスプレイ壁3上に表示されるオブジェクトに走査するように見えることが望まれる場合がある。フォーカスセンターは、フォローフォーカスを調整し、カメラのフォーカスを被写体からオブジェクトにシフトするように命令するような信号を送信させる。被写体は、カメラよりもディスプレイ壁3に近い位置に配置される。オブジェクトはディスプレイ壁に表示され、ディスプレイ壁よりもカメラから遠くにあるように見える。フォローフォーカスからのフォーカスコマンド信号は、リンク装置10で処理される。フォローフォーカスからのフォーカスコマンド信号が、カメラのフォーカスをカメラからディスプレイ壁までの範囲に合わせるように命令している場合、リンク装置はその信号をカメラに渡す。モータ5は、カメラが受信した信号に依存して、カメラのフォーカスを変更する。フォローフォーカスからのフォーカスコマンド信号が、カメラのフォーカスをディスプレイ壁よりも遠くにするように命令している場合、リンク装置はその信号をカメラに渡さず、ディスプレイ制御装置8に所望のフォーカス位置を信号で送信する。次に、ディスプレイ制御装置は、ディスプレイ壁3上に表示している画像に対して画像処理操作を行い、所望のフォーカス位置に依存してその外観を適合させる。例えば、所望のフォーカス位置に対応するカメラからの距離に現れることを意図する画像以外の部分に対してぼかしを適用してもよい。カメラのフォーカスはディスプレイ壁上に維持されるので、カメラはディスプレイ壁の外観を正確にキャプチャすることができます。203040